

本号は「新しい治療による炎症性腸疾患(IBC)の経過—粘膜治療を中心に」というテーマでお届けした。

近年、IBD に対する新しい治療法の登場により臨床的緩解のほかに粘膜治療(MH)の重要性が報告されるようになった。主に Crohn 病(CD)に対する infliximab (IFX) 投与、潰瘍性大腸炎(UC)に対する免疫抑制療法により MH が得られる可能性があり、日本における最新の成績が示された。平田論文では CD における難治化の要因と step-up と top-down 治療の世界的趨勢について文献的に考察された。松本論文と本谷論文では CD に対する IFX の治療成績が示され、IFX の維持療法が MH において重要であることが示された。平井論文、小林論文では多数の長期経過例

の詳細な分析から、CD における画像における予後予測因子が明らかとなり、今後の治療法の選択に有用と考えられた。鈴木論文では UC に対する Cyclosporine-A の、また上野論文では 6-MP の使用による治療効果が提示され、免疫抑制剤の MH に対する有用性が示された。大西論文では重症 UC に対する血球除去療法の成績が示され、今後の重点治療などの必要性が述べられた。藤谷論文では UC における易再発性が MH に依存することが拡大内視鏡的にも示された。田中論文、池田論文では UC、CD の難治化を予測する病理学的所見、特徴について述べられた。本号は IBD 診断・治療の日本における最先端が盛り込まれており、日本における今後の IBD 治療の新展開に十分貢献する 1 冊になるものと確信している。

# 胃と腸

1 月号 (第 43 巻・第 1 号) 予 告

発売予定 1 月 25 日  
定 価 2,625 円

## 主題／早期胃癌 ESD 一適応拡大を求めて

|     |                                                                        |                   |         |
|-----|------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------|
| 序 説 | 胃癌 ESD 適応拡大の現状と問題点—JDDW2007(神戸), シンポジウム 9「ESD の長期経過」から……………            | 佐田病院・胃腸科          | 八 尾 恒 良 |
| 主 題 | 早期胃癌のリンパ節転移危険因子を問う……………                                                | 新潟大学大学院・分子・診断病理学  | 味岡 洋一・他 |
|     | 胃 sm 癌のリンパ節転移に関する病理学的因子の研究—胃 sm 癌の内視鏡的切除後における外科的追加胃切除の病理学的適応基準の確立…………… | 大阪医科大学・第 1 病理     | 江頭由太郎・他 |
|     | 早期胃癌のリンパ節転移危険因子を問う……………                                                | 九州大学大学院・形態機能病理学   | 八尾 隆史・他 |
|     | 早期胃癌 ESD 適応拡大病変に対する不完全切除例の検討……………                                      | 仙台厚生病院・消化器内視鏡センター | 三島 利之・他 |
|     | 早期胃癌 ESD 適応拡大病変に対する不完全切除の要因と対策……………                                    | 大阪府立成人病センター・消化器内科 | 辰巳 功一・他 |
|     | 早期胃癌 ESD 適応拡大病変に対する不完全切除の要因と対策……………                                    | 広島大学病院・光学医療診療部    | 岡 志郎・他  |
|     | 当院における早期胃癌に対する ESD の現状—適応拡大病変の切除成績と非一括完全切除となる要因の解析……………                | 福岡大学筑紫病院・消化器科     | 長浜 孝・他  |
|     | 早期胃癌に対する内視鏡的切除後の長期予後—ガイドライン病変と適応拡大病変との比較……………                          | 国立がんセンター中央病院・内視鏡部 | 草野 央・他  |
|     | 早期胃癌 ESD 適応拡大病変の長期予後……………                                              | 佐久総合病院・胃腸科        | 高橋亜紀子・他 |
| 座談会 | 早期胃癌 ESD 一適応拡大を求めて……………                                                | 仙台厚生病院・消化器内視鏡センター | 長南 明道・他 |

## 胃と腸 (第 42 巻 第 13 号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itc @ igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itcho/

2007 年 12 月 25 日発行(毎月 25 日発行)

1 部定価 2,625 円(本体 2,500 円+税 5%)

2007 年年ざめ予約講読料 36,410 円

(増刊号 5,985 円を含む 13 冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・JCLS < (株)日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 今田・山中・天野・小松原